

練馬区立石神井小学校校舎等改築説明会

日時：平成29年 7 月13日(木)午後 6 時30分～

会場：石神井小学校 視聴覚室

<次第>

1 開会の挨拶

2 出席者の紹介

3 改築概要について

別紙

4 計画内容の説明

(1) 仮設校舎 配置・平面計画（イメージ）

資料 1

(2) 新校舎 配置・平面計画（イメージ）

資料 2

(3) 建替計画（イメージ）

資料 3

(4) 模型写真

資料 4

5 質疑応答

6 閉会

改築概要について

平成29年 7 月13日

練馬区施設給食課

1 改築の理由

石神井小学校は、建築後50年以上の経過に伴う経年劣化や教育内容・教育方法等の変化などに対応するとともに、「練馬区立施設建築安全基本方針」に基づく仮設建築物の解消と合わせて、校舎の改築を行うこととしました。

2 現況

所 在 地：練馬区石神井台 1－1－25

敷 地 面 積：12,207m²

構 造：鉄筋コンクリート造

階 数：4階建

延 床 面 積：校舎棟＝5,391m²

屋内運動場棟＝1,119m²

児 童 数：579名（平成29年 5 月 1 日現在）

3 新校舎計画規模等

(1) 構 造：鉄筋コンクリート造

(2) 階 数：3階建

(3) 延 床 面 積：6,700m²程度

(4) 校 庭：130mトラック、直線50m

(5) 計 画 諸 室：普通教室、特別教室、特別支援教室、管理諸室、給食調理室、学
童クラブ室、ひろば室等

4 仮設校舎計画規模等

(1) 構 造：軽量鉄骨造

(2) 階 数：3階建

(3) 延 床 面 積：4,909m²程度

(4) 計 画 諸 室：普通教室、特別教室、特別支援教室、管理諸室、給食調理室、学
童クラブ室等

5 工事スケジュール

別紙資料3のとおり

石神井小学校校舎等改築説明会について（報告）

日時：7月13日（木）18：30～
会場：石神井小学校 視聴覚室

主な質疑

Q1 石神井川の河川工事と改築工事について期間が重なるが、仮設校舎内で、工事の音による児童への授業の影響は大丈夫なのか。

A1 仮設校舎には冷暖房設備が入っているので、窓を閉めて過ごすことができる。そのため工事の騒音があっても軽減できていると考えている。改築工事においては防音パネルを使用することで騒音・振動・埃の対策を行う。また、使用する機械についても、低騒音・低振動にする等、授業や地域に十分配慮し、影響を最小限に抑えるようにする。

河川工事は東京都第四建設事務所が担当で、石神井小学校の改築工事の件についても連絡済である。また、東京都第四建設事務所からも、河川工事のスケジュールを聞いているので、工事期間は重なるが、連携を取りながら進めていく。

Q2 仮設校舎を予定している場所に新校舎を建てない理由は何か。仮設校舎を建てるに至った経緯を教えて欲しい。

A2 仮設校舎を建てる場所に新校舎を建ててしまうと、校庭が北側になってしまう。そうすると、日当たりが悪くなってしまい、雪が降ってしまうと溶けづらくなる等の弊害がある。様々な状況によって異なるが、校舎は北側で校庭が南側を原則として考えている。

Q3 新校舎の教室は現在よりも広くなるのか。

A3 教室の広さについては、既存の校舎の時よりも広がっている。

Q4 障害のある児童への対応のため、エレベーターを設置するのか。

A4 エレベーターは設置する。

Q5 運動会はどうなるのか教えていただきたい。

A5 運動会については、現在石神井中学校の校庭を借りられるように調整を進めている。

Q6 工事期間中グラウンドがどの程度、使用できるのか。

A6 建替計画図の空白になっている部分が遊べる場所になる。仮設校舎を建てるにあたって、できるだけ広く校庭を確保できる状況を考えている。

Q7 建替計画のステップ6の外構工事ではグラウンドがほとんど使えない状況なのか。それとも部分的に分けて工事を行っていくのか。校庭が全く使用できない状態で学校を運営するのは厳しいと思われるので、工期が延びても半分ずつ使用できるようにした方が良いのではないかな。

A7 工事を分けて行うという考えもあるが、早く工事を完了させ、校庭全面を使用し、児童がのびのびと遊べるようにしたいと考えている。過去の改築校においても、同様に行っている。

Q8 体育の時間数は狭い敷地内でも確保できるのか。それを含めて石神井中学校を借りる予定なのか。

A8 基本的に体育の授業は週3時間（校庭で2時間、体育館で1時間）であるが、石神井小学校の体育館は他校に比べて広いので、2クラス一緒に授業を行うことも可能だと考えている。そのようなやりくりをしながら、週3時間の体育の授業を確保していきたい。他校の校庭を借りるとなると、例えば石神井中学校だとしても、往復に時間がかかり、授業時間が減ってしまうので、体育館・プールと使用できる校庭をうまく活用していきたい。今後、計画を練っていく。

Q9 普段南側に住んでいる児童が登校する場合は北側に回るのだが、ほたる橋が河川工事中なので、そこを避けて登校している。12月にはほたる橋の工事は終了するのか。またほたる橋の工事とのスケジュール調整はできているのか。

A9 仮設校舎使用の際にはほたる橋が完成しているかについては確認する。松の木橋の河川工事があったとしても、仮設の人道橋が設けられるので、それを通して北側から登校するルートになる。東京都第四建設事務所の河川工事工程表によると、平成29年9月から松の木橋を壊し、仮人道橋を今より東側に作る。松の木橋は平成30年12月頃に完成すると聞いている。南側から登校する児童は仮人道橋を通して登校できる。なお仮設校舎を使用する時期について、西門は工事車両が通行するため、誘導員を配置する。

Q10 工事の時間は何時から何時まで行うのか決まっているのか。また雨天時はどうなるのか。

A10 具体的には、工事業者が決まってからになるが、だいたい8時半から18時頃までになる。日曜・祭日は基本的には行わない。ただし、騒音・振動が出ない工事については時間外や日曜・祭日に行う可能性はある。その場合には工事業者が決定した段階でお知らせする。

Q11 登下校の時間と工事時間が重なってしまうことはないのか。

A11 登下校の時間帯は工事車両が入らないように安全管理を行う。工事業者が決定した段階で詳細をお知らせする。

Q12 工事業者はいつ頃決定するのか。

A12 解体工事は平成30年7月頃、改築工事は平成31年4月頃の予定である。

Q13 工事車両の出入り口には警備員はいるのか。学童クラブを利用する児童（18 時頃帰宅）にも配慮されるのか。

A13 工事時間帯において、工事車両のメインゲートには必ず交通誘導員を配置する。

Q14 改築工事中、児童は中休み、昼休み、放課後等、校庭で遊べるのか。また石神井公園を校庭開放のようにして使用できないのか。

A14 石神井公園のグラウンドに移動するにも距離があり、児童だけで遊びに行くことは難しい。体育館が広いので、工事中は中休みにも体育館も使用できるようにしたいと考えている。具体的なことはこれから検討していく。

Q15 ステップごとに白い区画があるが校庭開放はするのか。

A15 工事期間中でも校庭開放は行う。

Q16 仮設校舎、新校舎ともに北側に窓がある教室があるが、採光はどうなるのか。

A16 教室は3階にあるので、光は全面にまわる。中庭側を2か所取り、南側から廊下を介して教室にも明るさを確保しようというものである。また、北側はお寺があり、景観上緑が見えるので、学習環境上も良好という考えである。

Q17 事業規模を教えてください。

A17 工事費は26～27 億+ α と考えている。

Q18 仮設校舎のイメージはどのようなものなのか。

A18 今後、仮設校舎事業者から説明を行い、その際に、イメージ図等は示せると思う。現在の仮設校舎は仮設といっても、非常にしっかりしている。冷暖房の空調も設置される。

Q19 石神井小学校は避難拠点に指定されているが、工事期間中の活動についてはどうなるのか。

A19 避難拠点としての活動は工事期間中も行う。ただし、校庭は狭くなるので、体育館を使用する等、避難拠点運営連絡会の方々と調整を行う。

Q20 ステップ1、2の工事期間中はプール門を使用せず、北側にある門を使用する方が良いのか。

A20 安全上を考慮すると北側の門を使用して頂くことになる。

Q21 ステップ3で、児童の登校はプール門のほうが安全か。

A21 プール門は仮設校舎用に設置するので安全である。北側も工事用と児童用の動線を分けるので使用することはできる。

Q22 校庭を使用したクラブ活動を行っているが、近隣施設を優先的に使わせてもらえるのか。

A22 近隣施設の利用料金の優遇や補助については考えていない。また区のグラウンドを優先的に使用できるようにすることも考えてない。

Q23 仮設校舎の際、鉄棒・のぼり棒・遊具はどうなるのか。授業では使えないのか。

A23 工事に影響のあるものは撤去するため、遊具は新校舎が完成するまでではない。工事期間の狭い校庭に遊具を設置してしまうと、さらに活動スペースが狭くなってしまう。

Q24 新校舎の図面にあるプール横の屋外倉庫はどう使用されるのか。

A24 学校倉庫となる。

Q25 仮設校舎の耐震性や耐火性はどうなっているのか。

A25 仮設校舎でも準耐火構造の建物となる。また、耐震性についても、ブレースを入れる等調整をしていく。建築基準法に定められた耐震性能は十分に満たした仮設校舎は建つ。

Q26 説明会の時間について、保護者が参加しづらい時間だった。土日等、保護者が参加しやすい時間帯で次回以降の説明会を設定して欲しい。

A26 今後は保護者や地域の方々が参加しやすい時間設定にする。毎回同じ時間ではなく、曜日や時間を変えて、調整させていただきたい。

Q27 次回の説明会はいつ頃か。

A27 建築基準法上の仮設校舎の説明会が夏以降から秋に実施し、新校舎の説明会は平成 29 年 11 月～12 月実施予定である。建築基準法上の説明会后に、工事の説明会がそれぞれ行われる。説明会によって、対象者が異なるため、保護者の対象ではない説明会は特にお知らせしない場合がある。

練馬区立石神井小学校校舎等改築計画
160713・石神井小学校地域・保護者説明会
仮設校舎 配置・平面計画（イメージ）

	普通教室
	少人数教室
	共用スペース
	廊下等
	特別教室
	学童クラブ／特別支援
	管理諸室

3階平面図

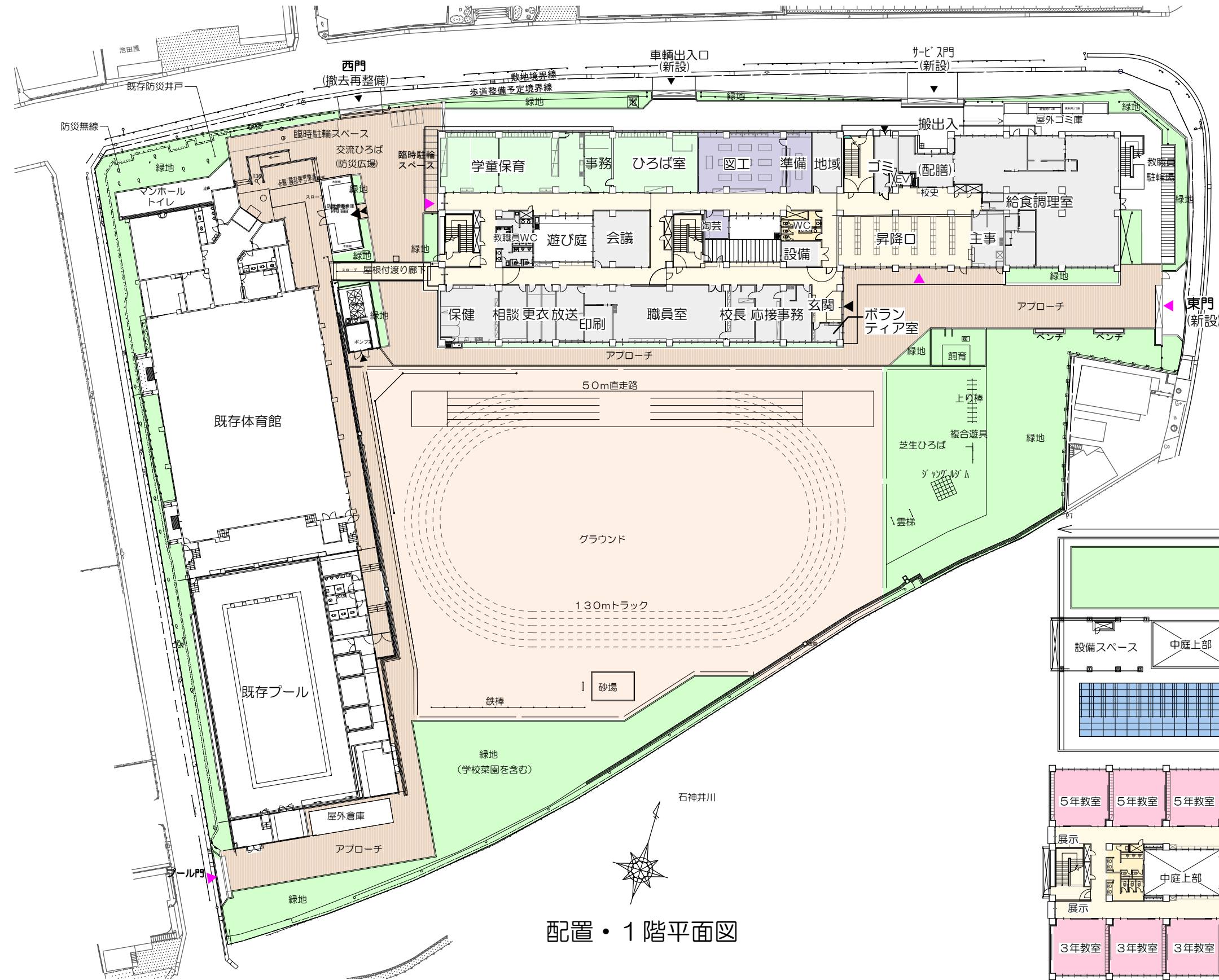
2階平面図

※各教室の学年割り当ては仮設定であり、運用時の規模等により変わる

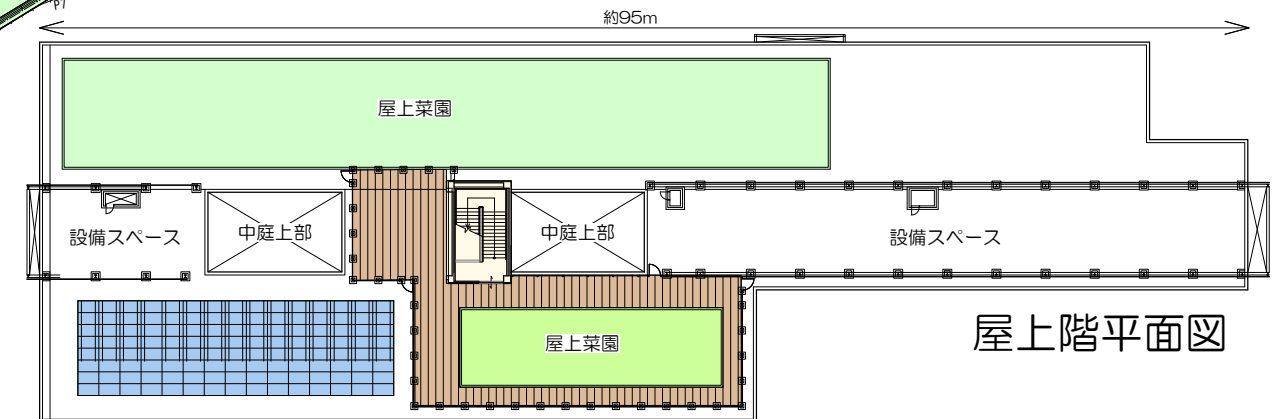
資料2

練馬区立石神井小学校校舎等改築計画
160713・石神井小学校地域・保護者説明会
新校舎 配置・平面計画（イメージ）

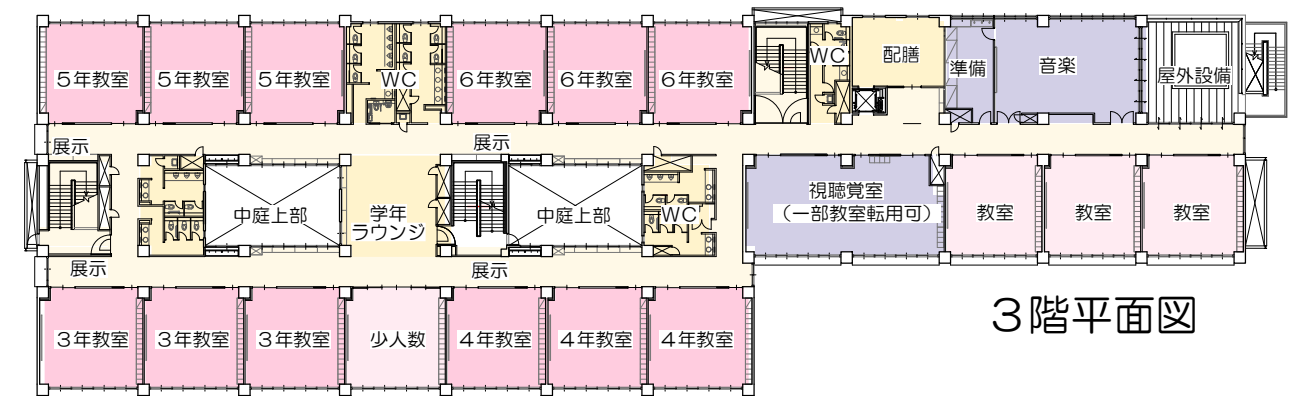
- 凡例
- 普通教室
 - 少人数教室
 - 共用スペース
 - 廊下等
 - 特別教室
 - 学童クラブ／特別支援
 - 管理諸室



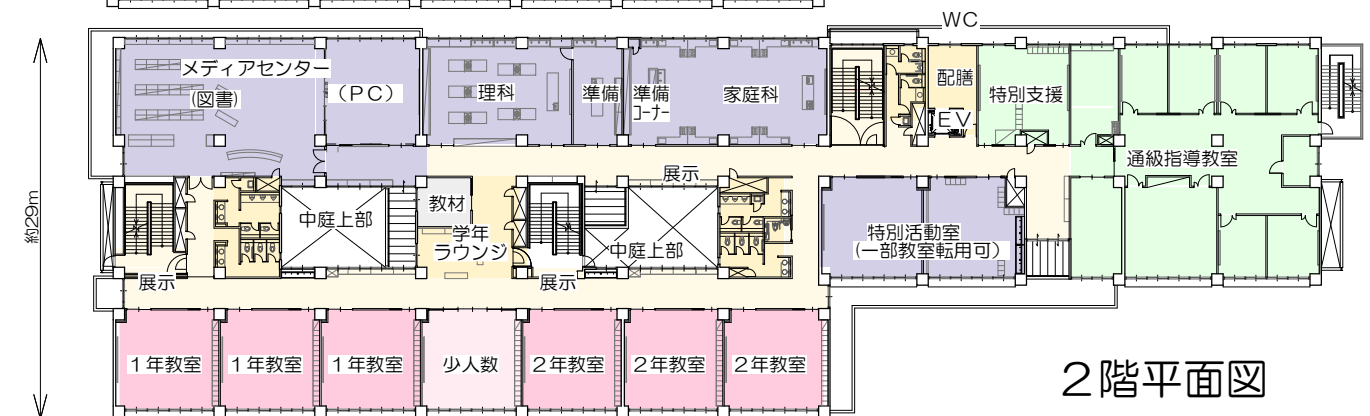
配置・1階平面図



屋上階平面図



3階平面図



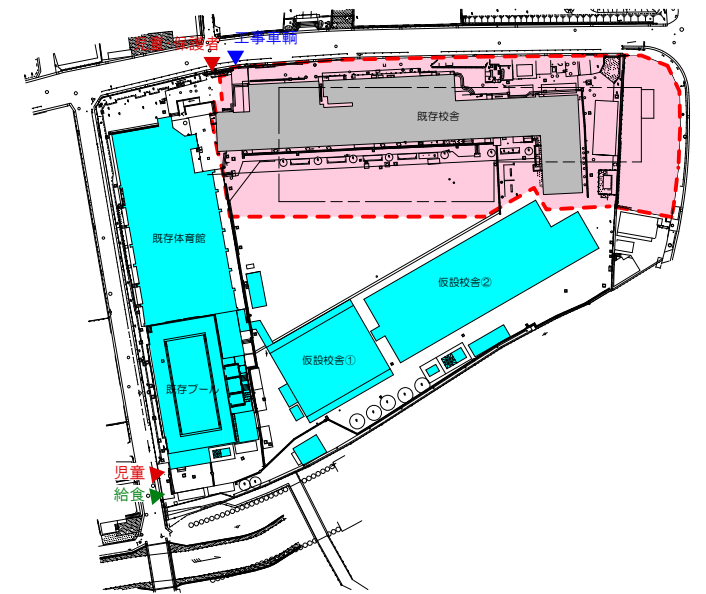
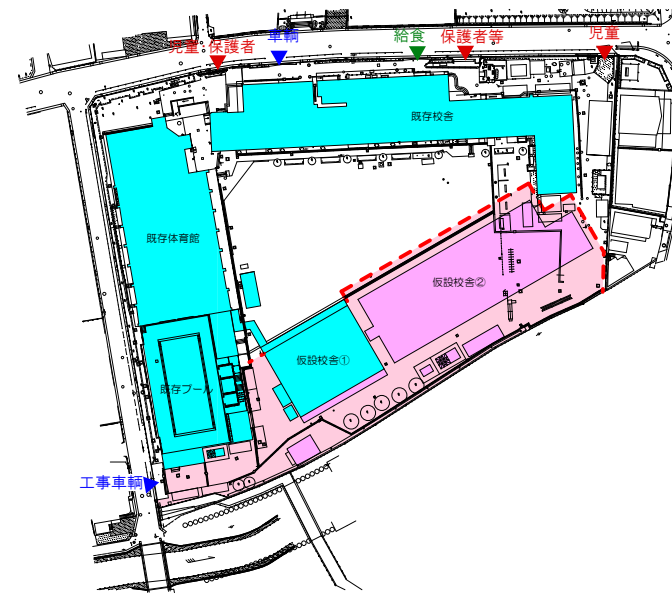
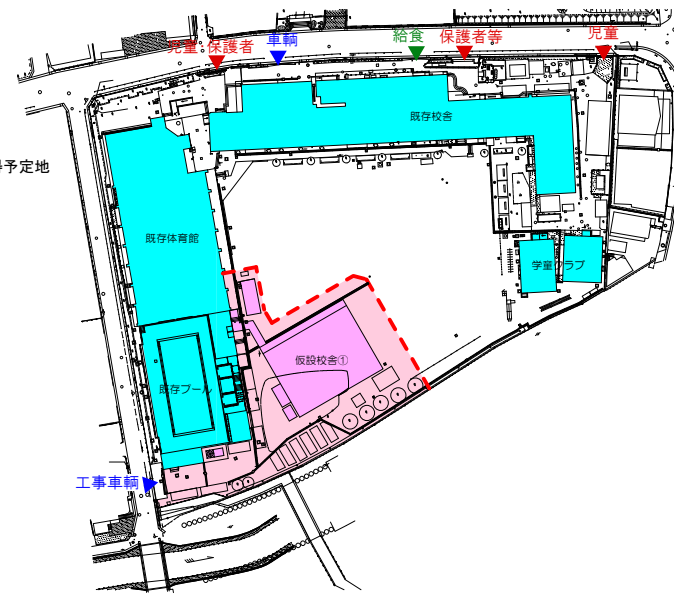
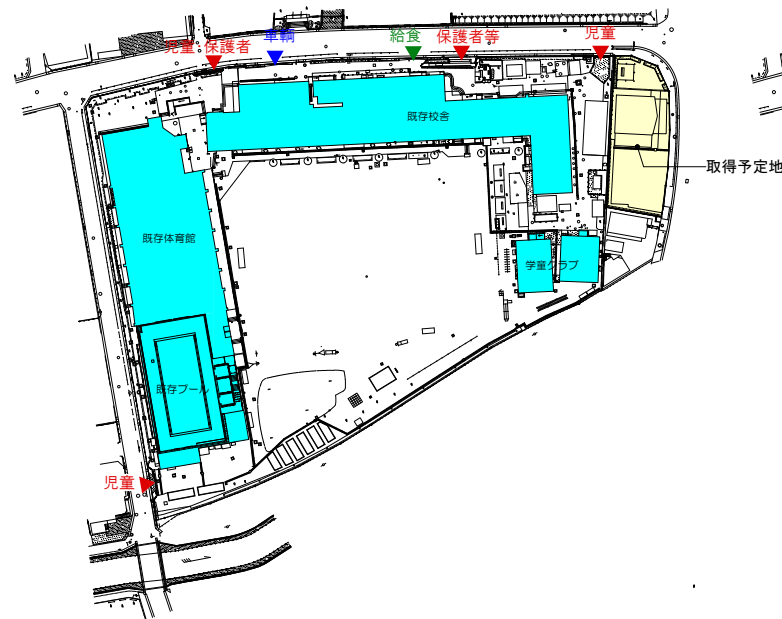
2階平面図

■現状

ステップ1. 仮設校舎①建設
平成29年12月～平成30年2月末 約3ヶ月

ステップ2. 仮設校舎②建設
平成30年4月～平成30年7月末 約4ヶ月

ステップ3. 既存校舎解体
平成30年9月～平成31年3月末 約7ヶ月

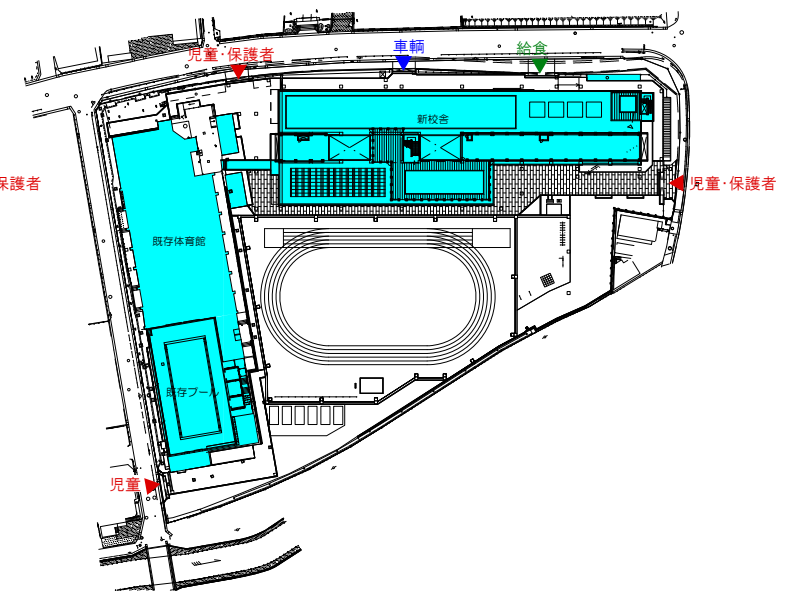
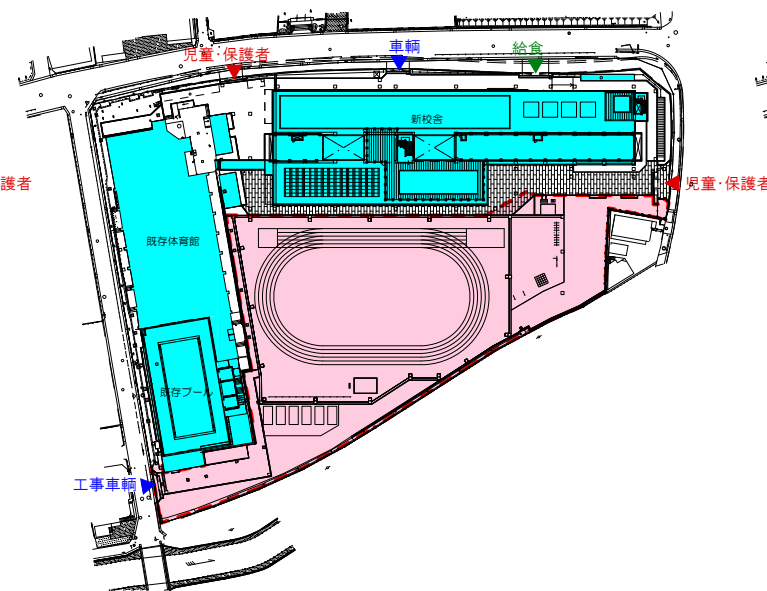
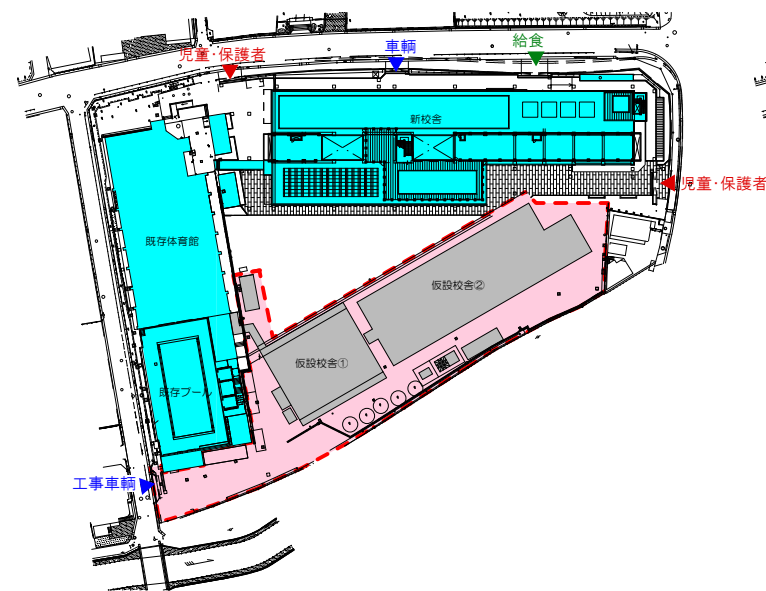
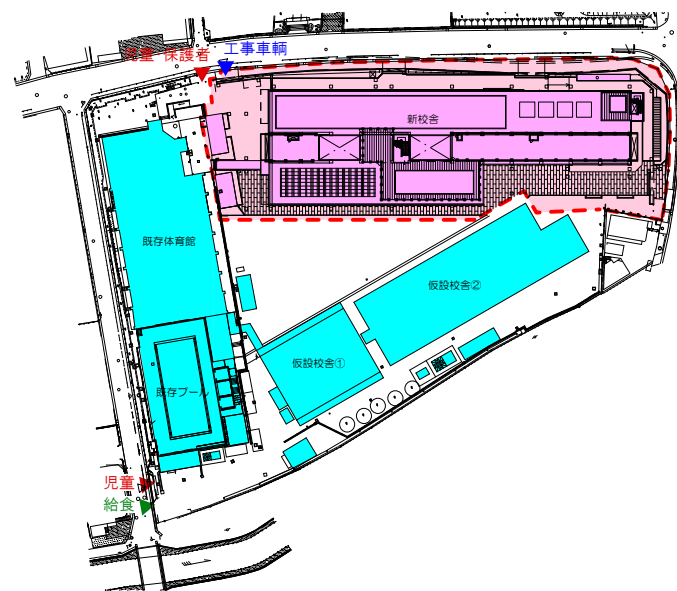


ステップ4. 新校舎建設
平成31年4月～平成32年11月末 約20ヶ月

ステップ5. 仮設校舎解体
平成33年1月～平成33年5月末 約5ヶ月

ステップ6. 新校舎完成・外構整備
平成33年6月～平成33年11月末 約6ヶ月

■校舎等改築工事完了
工事期間合計 約4年



	平成29年度												平成30年度												平成31年度												平成32年度												平成33年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
仮設校舎工事																																																												
仮設校舎①建設																																																												
仮設校舎②建設																																																												
学童クラブ解体																																																												
STEP3:既存校舎解体(約7ヶ月)																																																												
STEP5:仮設校舎解体(約5ヶ月)																																																												
STEP4:新校舎建設(約20ヶ月)																																																												
STEP6:外構・グラウンド工事(約6ヶ月)																																																												
学童クラブ引越																																																												
校舎引越																																																												
学童クラブ仮設校舎先行利用																																																												
仮設校舎運用期間(約29ヶ月)																																																												
校舎引越																																																												
新校舎運用開始																																																												

- 凡例
- 利用中の施設
 - 工事中の施設
 - 解体中の施設
 - 工事中の範囲・仮囲い
 - 歩行者
 - 車両
 - 給食

※本資料の工期等については、検討段階の数字となります



■ 北西側 模型写真



■ 北東側 模型写真



■ 南西側 模型写真



■ 南東側 模型写真